

対策概要

- 中低温の冷水を供給する設備として、空冷チラー冷凍機と密閉式冷却塔で構成される冷凍機内蔵冷却塔を導入する。

導入可能性のある業種・工程

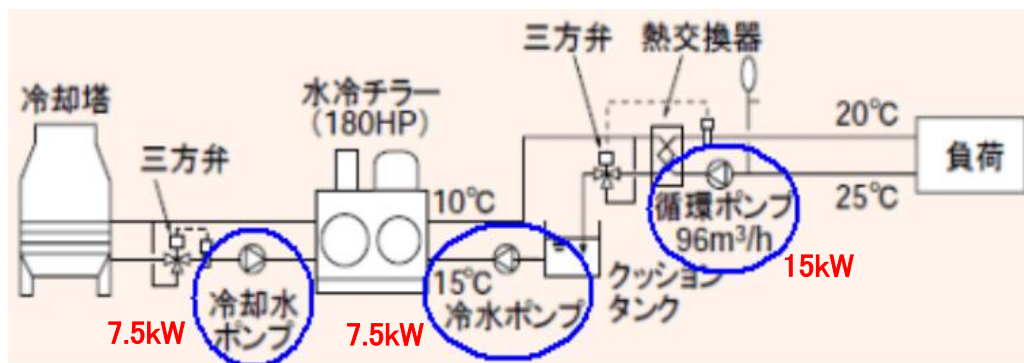
- 食料品製造業、飲料・飼料・たばこ製造業、医薬品製造業の冷却・冷凍工程

原理・仕組み

- 中低温の冷水を供給する場合、冷却塔でフリークーリングして供給できる時間が長く、別途設置した水冷チラーの稼働時間が短い。そこで、システムがより簡素な冷凍機内蔵密閉式冷却塔を採用し、ポンプ動力を削減する。

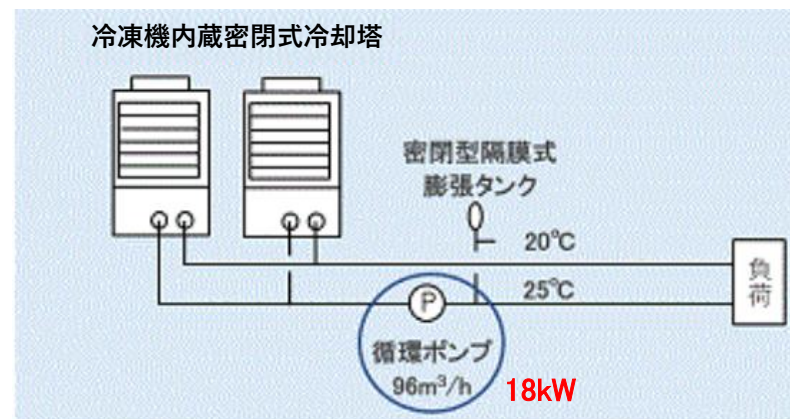
対策イメージ^[1]

従来のシステム



出所) [1] 株式会社プロテリアル「チルドタワーの特長 密閉式冷却塔で大きな省エネ」
<https://www.proterial.com/products/plumbing/chilledtower/features01.html> (閲覧日: 2023年10月3日) より作成

冷凍機内蔵密閉式冷却塔システム



効率・導入コストの水準

- 効率水準: -
- 導入コスト水準: -

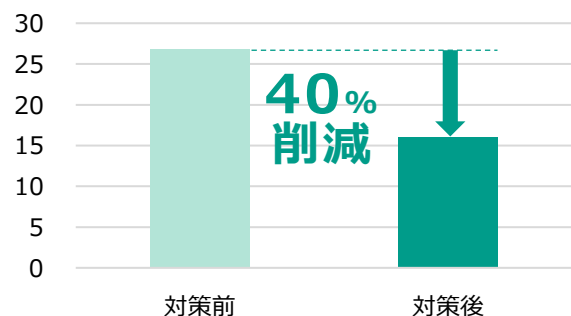
導入効果

- 水冷チラーと冷却塔を別個に設置するシステムを、冷凍機内蔵型冷却塔を採用したシステムに変更したケース（p1の対策イメージ参照）における試算例は以下のとおり。

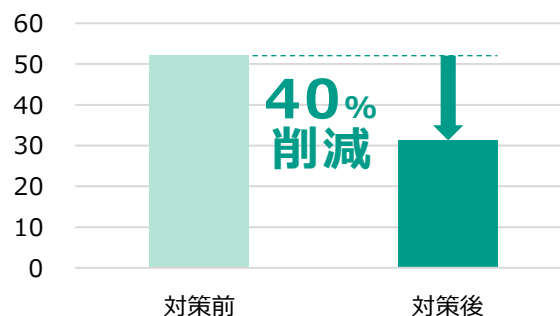
導入効果の試算例

- 各指標で40%削減できる試算結果。

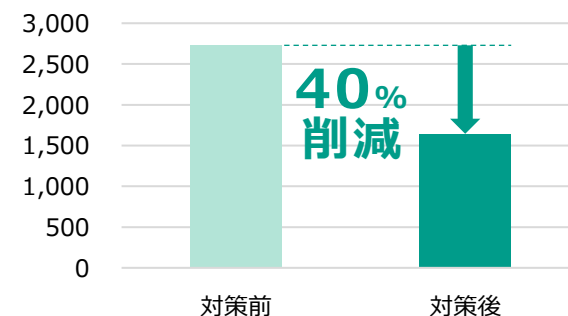
エネルギー消費量 (kL/年)



CO₂排出量 (t-CO₂/年)



エネルギーコスト (千円/年)



計算条件

- 対策イメージの図に示すシステムを、年間4,000時間運転した場合を想定した。
- 同じ冷却負荷に対して、冷却水ポンプ（7.5kW）、冷水ポンプ（7.5kW）が不要となる。循環ポンプは、対策前（15kW）に較べ、冷却塔内冷凍機の圧力損失により消費電力が増える（18kW）。合計ポンプ動力は30kWから18kWに40%削減されると想定した。

項目	記号	Before	After	単位	数値の出所、計算式
電気の単価	①	22.76	22.76	円/kWh	【参考①】
電気の一次エネルギー換算係数	②	8.64	8.64	GJ/千kWh	【参考①】
電気のCO ₂ 排出係数	③	0.434	0.434	t-CO ₂ /千kWh	【参考①】
ポンプの定格消費電力の合計	④	30	18	kW	p1の図を基に想定
年間稼働時間	⑤	4,000	4,000	h/年	想定値
電力消費量	⑥	120	72	千kWh/年	④×⑤÷1,000
エネルギー消費量	⑦	1,037	622	GJ/年	⑥×②
エネルギーの原油換算係数	⑧	0.0258	0.0258	kL/GJ	【参考①】

計算結果

項目	記号	Before	After	単位	計算式
エネルギー消費量	⑨	26.7	16.0	kL/年	⑦×⑧
CO ₂ 排出量	⑩	52	31	t-CO ₂ /年	⑥×③
エネルギーコスト	⑪	2,731	1,639	千円/年	⑥×①

備考

- 機器類の定期メンテナンスが必要である。